

波長
(μm)

1000

100

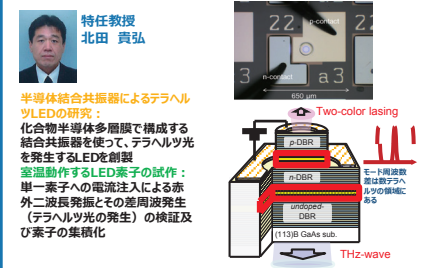
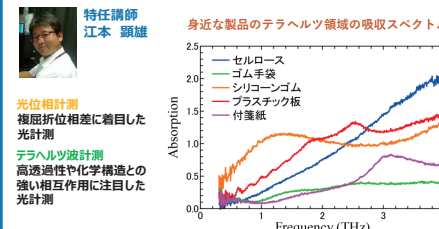
10

1

0.1

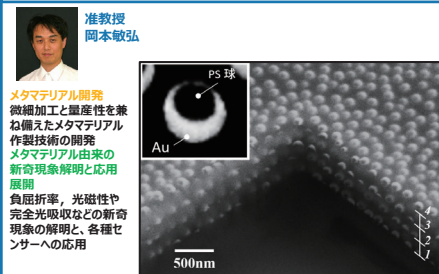
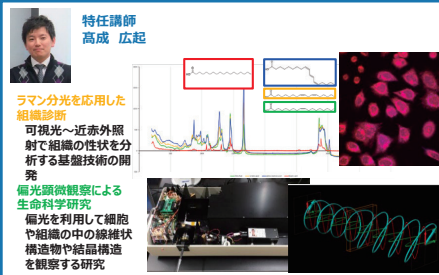
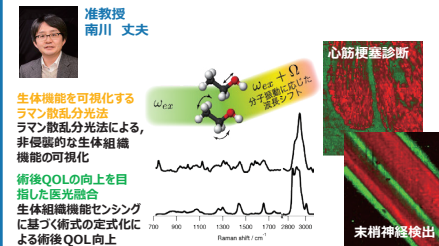
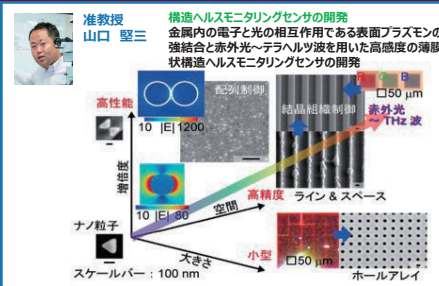
テラヘルツ (100 μm ~1mm)

可視光よりも波長が長いテラヘルツは、開発が進んでおらず、“電磁波最後のフロンティア”と言われています。物を透過する波長の特性から、インフラの非破壊検査や食品の異物検査などへの応用が期待される光源です。



赤外 (0.7 μm ~100 μm)

物に照射することで超精密な物差しのように使うことができることから、呼気中の成分分析による健康診断など、健康医療への展開が見込まれています。



紫外/深紫外 (10nm~380nm)

深紫外光は水銀灯に変わる次世代の水処理（殺菌）光源として期待されています。特にLEDの内結晶欠陥の抑制による長寿命を実現し、医療、空気清浄、細胞研究などの新規応用にも取り組みます。

